



熊野町立熊野第一小学校
令和6年1月22日
校長 水戸 美穂子

くまいち四季折々

今年は今のところ暖冬で、朝から凍えるような寒さの日がまだありませんが、そんな中でも先日、ある子どもがビオトープの池に張った氷を取って見せてくれました。「どこにできてたの?」と聞くと氷が張られている場所を教えてくれ、他の子供たちも「どれどれ」と見に来ました。その場所は日陰の場所で大休憩になっても氷が解けずにいたようです。集まった子供たちは冷たい水に手を入れて透明な氷を手に取り「きれい」「つるつるしてる」などと言ってなるべく大きな氷を取ろうとしていました。その冷たさで手はみるみる赤くなっていましたが、氷の魅力には勝てないようで、何度も氷を触って楽しんでいました。冬のビオトープでも子供たちの学びはいっぱいです。

昔遊びについて (1年生)

生活科の学習で、昔遊びを行っています。1月19日には地域(民生委員・児童委員)の方々をサポートしていただきながら、楽しく昔遊び体験ができました。地域の方々と触れ合う大切な機会ともなりました。ご協力いただきありがとうございました。



座右の銘について (6年生)

中溝地区老人クラブ「千歳会」さんのお世話で、中溝地区に今年も6年生の座右の銘が展示されました。卒業を前に、日ごろから大事にしている言葉を一人一人が考え、毛筆で表現しました。「当たり前の中にただ事ではない幸せがある」「一期一会」等、その子らしい言葉を書き、千歳会の方がラミネートして展示してくださっています。1月17日には、6年生の代表がふれあい公園で千歳会の方と交流をしました。「皆さんの心のこもった座右の銘を、地域の人も足をとめて見ている。地域の方は、皆さんのことを応援している。卒業してもそれぞれの言葉を大事に羽ばたいてほしい。」という地域の方々の思いに応える6年生。

保護者の皆様もよろしければ、中溝ふれあい公園の他、地域のあちこちに掲示されている子供たちの座右の銘をご覧ください。

